

科目名称	災害看護と国際協力	学年学期	単位数	時間数
		3 学年前期	1	15
担当教員	原田 留美	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

グローバル化の進展に伴う世界規模での健康問題解決、災害が与えるあらゆる影響、災害看護についての基礎的知識を学び、世界的視野での災害について学ぶと共に看護師としての災害時の看護活動の基礎的知識と国際協力について学ぶ。

【2】学習目標

1. 災害の定義および災害医療の概要を説明できる。
2. 災害の人々への影響が説明できる。
3. 災害時の看護の役割、支援活動が説明できる。
4. 被災病院・救護所・避難所での看護が説明できる。
5. 災害サイクルにおける保健医療ニーズや活動の場に応じた看護が説明できる。
6. 災害のサイクルに応じた看護の役割、支援活動の実際が説明できる。
7. 災害時のプライマリヘルスケアについて説明できる。
8. 我が国における災害対策と災害救護活動をとおして、国際協力の必要性が説明できる。
9. 学生としての国際的医療・看護支援について考えることができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	災害に関する知識、災害医療の特徴	講義
2	災害各期に応じた看護① 災害看護の基礎知識 急性期・亜急性期	講義
3	災害各期の応じた看護② 急性期の外傷とトリアージ	講義・演習
4	災害各期の応じた看護③ 慢性期・復興期・静穏期	講義
5	災害時のこころのケア	講義
6	看護の国際化について	講義
7	異文化看護	演習
8	筆記試験	

【5】評価方法

筆記試験(70%)、演習・レポート・課題(30%)により総合的に評価する。

【6】教科書

竹下喜久子編:系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護(第4版) 医学書院 2022

【7】参考書

柳澤理子・大野かおり:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論(第17版) 広がる看護活動の領域 p306~350 2022

小原真理子・酒井明子監修:災害看護・心得ておきたい基本的知識 南山堂 2019

【8】受講生へのメッセージ

近年災害が頻繁に発生していますが、災害によって人々の健康や生活にどのような障害が及ぶのか、また、在留外国人や訪日外国人が増え続けている現在、異文化や多文化に対して私たちはどのような視点をもって接するのか理解を深めましょう。